

離婚協議書

第1条

夫榎本一郎(以下甲という)と妻純子(以下乙という)は協議により離婚することに合意し、以下のとおり契約を締結した。

第2条

甲乙間の未成年の子太郎(平成10年1月1日生、以下丙という)、花子(平成12年1月1日生、以下丁という)の親権者を父である甲と定める。母である乙は丙および丁の監護権者となり、それぞれが成人に達するまで、これを引き取り養育する。

第3条

甲は乙に対し丙の養育費として、平成〇年〇月〇日から丙が成人に達するまで毎月〇万円を、丁の養育費として平成〇年〇月〇日から丁が成人に達するまで毎月〇万円を毎月末日限り乙の指定する口座に振込みにて支払う。右養育費は物価の変動その他の事情により甲乙協議の上増減できる。

第4条

甲は乙に財産分与として、甲所有名義の下記不動産を譲渡し、〇月〇日までに財産分与を原因とする所有権移転登記手続きをする。

登記手続費用は乙の負担とする。

不動産の表記(省略)

第5条

甲は乙に対し、本件離婚に伴う慰謝料として金〇〇万円を支払う。
支払期限は平成〇年〇月〇日とする。利息は〇〇とする。

第6条

甲は、丙及び丁の福祉を害しない程度で、乙の承諾を得て丙及び丁と面接することができる。
面接交渉の内容は以下のとおりとする。

(合意した内容を詳しく書いてください)

第7条

甲乙は、本契約に定めた以外には相手方に対し、何らの請求をしないことを確認した。

第8条

本合意内容は甲乙それぞれが再婚した場合にも継続する。

上記のとおり合意したので、本書2通作成し、甲乙各自保有する。

平成〇年〇月〇日

〔甲の住所・署名・押印〕

〔乙の住所・署名・押印〕